

ぼくのウーパーパー

桜町小・2 佐野 じゅんき

ぼくの家では、ウーパーパーをかっています。このウーパーパーは、ぼくがおこづかいで買ったものです。お父さんが、いろいろしらべてくれて、魚や水べの生きものがいっぱいいるお店をさがして、買ったものです。

買った時はまだ赤ちやんで、とても小さくて、はかってみたら二センチメートルでした。赤ちやんはまだ小さいので、つぶのえさは食べられません。それなので、れいとうのあか虫をとかして、少しずつあげました。日に日に食べるりょうもふえていき、すぐに大きくなりました。今では十五センチメートルをこえるまでに、大きくせいちょうしました。その後もじゅんちょうにそだち、つぶのえさも食べられるようになりました。

ところが、ある日しつぽと右手がおかしくなっていることに気がつきました。しつぽはぼろぼろになっているし、右手はくしゃくしゃになっていて、しばらくするとちぎれてしまいました。ぼくはびつくりして、すぐにお母さんにそうだんしました。

インターネットでしらべてみると、びょう気になっていたということが分かりました。なんとかなおしてあげたいと思ったけれど、ウーパーパーにつかえるくすりはありませんでした。ぼくは心の中で、よくなれ、よくなれ、とねがいながら、水をかえつづけていました。

すると、だんだんしつぽはきれいになおってきました。

でも、まだ右手はなおっていません。このままなおらないんじゃないかなと思いましたが、あきらめずに毎日お世話しました。そうすると、ちぎれていた手がまた新しく生えてきました。ぼくは、「やったあ。」

と、さげんでしまいました。手がちぎれても、また生えてくるなんて、すごいなと思いました。

ぼくは、生きものが大すきです。うずらをたまごからかえたこともあります。とても大へんだったけど、小さなうずらのひなを見たときは、とび上がるくらいうれしかったです。ほかに、おたまじゃくしやねこなどのお世話もしています。

これからも、ウーパーパーが元気にすごせるように、お世話していこうと思います。